

# 心キラッ！栗原っ子

尾道市立栗原小学校  
校長室だより NO. 2  
平成28年 6月 1日



## 育てる

『朝顔につるべ取られてもらい水』という俳句があります。

江戸時代の朝には、井戸に水をくみに行くことから生活が始まります。その井戸の桶に朝顔のツルが巻きついてしまい、取り除くのがかわいそうなので、他の井戸から水をもらってこよう、という意味です。俳句をつくった人の心のやさしさを感じます。

今、学校では、1年生が朝顔の種をまき、水やりを続けています。自分が種から育てた朝顔にはどんな気持ちを持つでしょう。きっと、

大好きな家族に対する気持ちと同じではないでしょうか。これから、朝顔が大きくなるにつれて支柱を立てたり、肥料をあげたりとその時その時に必要な世話も増えてきます。自分で考え、調べ、世話をすることで愛着がわき、好きになるのですね。美しい花を咲かせて欲しいと思います。

## “みんなで感動を届けた” 春季運動会



素晴らしい天気にも恵まれた5月22日の春季運動会。子供達に温かいご声援をたくさんいただき、心より感謝申し上げます。

今年度は雨の日が多く、運動場で練習できたのは最後の一週間だったと言っても過言ではありません。朝、練習するブラスバンドのファンファーレ、応援団のたくましい声や太鼓の音・・・等々、聞くことができたのも最後の一週間でした。

そんな状況の中、子供達は、運動会のテーマ「はじけろ栗っ子！深めろきずな！みんなで感動を届けよう！」を目標に、1時間1時間の練習時間を大切にしながら練習を積み重ねていきました。日に日に完

成度が高くなっていく様は、目を見張るほどでした。やり直しができるほどの時間がないことを、教職員だけでなく子供達も感じ取っていたのだと思います。集中して取り組んだ運動会。当日も、開会式から閉会式まで、子供達は期待以上の素晴らしい姿を見せてくれました。自分が参加する演技は全て一生懸命に取り組む子供達の姿に心を打たれました。行進一つにしても栗原小学校の児童としてどのような姿を目指すのか、1年生以外はこれまで経験した運動会の中で、先輩方の姿を目に焼き付け息を吸うように身につけているからこそ、こんな短時間で仕上げる事ができたのだと思います。伝統の素晴らしさと具体的な目標を持

### 来賓の方から(一部抜粋)

子供達がかいっぱい演技している姿を見て胸を打たれました。6年生はリーダーとして頼もしくなり、他の学年も新学期がスタートして2ヶ月足らずで、とても成長しました。先生方が力を合わせてご指導されてきたからこそだと思いました。

つことの大切さを実感しました。

早や一学期も後半に入ります。5年生の「基礎・基本」定着状況調査も近づきました。水泳指導も始まります。運動会で学んだ多くのことをつなげて、次の行事へ臨んでほしいと思います。